

季刊

はまかせ

 国家公務員共済組合連合会
浜の町病院
日本医療機能評価機構・平成16年認定
Hamanomachi Hospital

2018 第69号
Jan.



富士登山吉田ルート八合目よりのご来光 (写真撮影者 白水 龍道)

C O N T E N T S

- 新年のごあいさつ 一宮 仁・平野 礼子
- 専門・認定看護師の紹介
- 地域医療連携課だより
- 登録医から一言
- 外来診療担当医一覧

理 念

『病める人の身になって、
心のこもった最良の医療を目指します』

基本方針

1. 福岡市の基幹病院として急性期医療を担います。
2. 地域医療支援病院として、地域の医療機関との連携や役割分担による地域完結型医療を目指します。
3. 安全で質の高い医療を追求し、患者さんに満足していただける病院を目指します。
4. 患者さんの尊厳と権利を尊重します。
5. 新しい時代の医療を先取りし、常に研鑽努力します。

Hamanomachi Hospital

〒810-8539 福岡市中央区長浜3丁目3-1 TEL 092・721・0831 FAX 092・714・3262

<http://www.hamanomachi.jp>

新年のごあいさつ



病院長 一宮 仁

新年あけましておめでとうございます。

昨年はアメリカでのトランプ大統領の就任に始まり、北朝鮮からはそのアメリカを仮想標的としたミサイル発射実験が繰り返し行われるなど不穏な一年でした。国内では九州北部豪雨や金塊密輸に絡む高額な金銭の強奪事件など、悲しいことや恐ろしい出来事が多く嬉しいニュースが少なかったように感じます。また、日本を代表する企業の不正や不祥事はこれまで先達が築いてきた国際的な信用を失墜しかねません。「忖度」という言葉が悪い意味でしか使われないのも気がかりです。今年は戌年です。勤勉でまじめ、努力家を意味し、安産や出産に縁起の良い干支でもあり、日本人にとっても少子化の進む日本にとっても相応しいように思います。私たち日本人の素晴らしさや誇りを取り戻したいものです。

今上天皇の生前退位は平成31年4月30日に決定されました。一年間を通して「平成」であり続けるのは今年が最後になります。「浜の町病院の平成史」そして「自分の平成史」を振り返ってみようと思っています。言うまでもなく、これからの新しい時代のことも考えなければなりません。

超高齢化と人口減少が加速する次の時代に向けて、医療提供のあり方や制度が変わりつつあります。地域医療構想では個々の病院が地域における自院の役割と立ち位置を客観的に認識して、病院（病床）の機能を明確にしなければなりません。当院は急性期医療を担う総合病院としてあり続けるつもりですが、機能の異なる回復期施設や在宅医あるいはかかりつけ医の先生方との連携診療によって地域完結型の医療を提供することになります。そのためには地域の医療施設や先生方とより広く緊密な連携が必要となります。これまでの「登録医勉強会」を昨年から「病診連携の会」と改め、登録医以外の先生方にもご参加いただくように致しました。これからも地域医療構想に則り、地域医療支援病院として、がん拠点病院としての使命を果たしたいと思いますので、連携いただいている地域の先生方におかれましては、本年もよろしくお願いいたします。

先送りされている医療分野の働き方改革の検討も始まりました。確かに医療従事者の労働は過酷で労務改善が必要ですが、官公庁や一般企業とまったく同じ扱いになれば、医療は決定的に崩壊しかねません。人材の不足する診療部門、例えば救急医療などは真っ先に破綻するでしょう。これからの医療にはまだまだみんなで考えるべき課題が山積みです。

今年の10月に共済医学会を福岡国際会議場で開催します。特別講演は市民公開講座の形式にして多くの方々に参加いただければと思います。医療のこれからを考える有意義な学会になるよう職員一丸となって準備します。

最後になりましたが、本年が皆様にとりまして素晴らしい一年になりますことをお祈り申し上げます。

平成30年 元旦

2018年（平成30年）



看護部長 平野 礼子

皆様、新年明けましておめでとうございます。

昨年は、新世代の台頭を感じた年でした。将棋の藤井聡太四段（15歳）がデビュー後、負けなしの29連勝を達成しました。また、卓球の張本智和君（14歳）がチェコ・オープンの男子シングルスで優勝し、ワールドツアー史上最年少優勝を成し遂げました。ほかにも沢山の若い才能に期待や希望を感じ、とても嬉しい思いがしました。

一方、九州はまたも大きな自然災害に見舞われてしまいました。7月の九州北部豪雨で被災された皆様には、お見舞い申し上げますと共に1日も早い回復を願います。

さて昨年、看護部では2つの小さな取り組みを開始しました。

1つは地域の看護師や介護スタッフ向けのセミナーの開催です。地域で活動している看護スタッフにどのような学習ニーズがあるかを調査し、当院に所属する専門看護師や認定看護師をリソースとして活用していただきたいとセミナーを企画しました。9月に第1回目を開催し、90名程の参加を戴いたところです。今後も継続していきたいと考えておりますのでご活用いただくことを期待します。

2つ目は入院患者さんが訪問看護を利用してご自宅に戻られる場合、患者さんと訪問看護ステーション等の了解を得た上で当院の看護師も同行させていただき取り組みです。病棟看護師は訪問看護を利用される患者さんに対して、入院中より在宅療養を見据えた看護を計画して実施しています。在宅への同行訪問は、入院中の看護が患者さんやご家族の在宅での療養に役立つものとなっているか、自らの看護を振り返る機会となります。現在、5部署の看護師が実施したところです。看護の振り返りだけでなく訪問看護との連携のあり方や患者さんが自宅で過ごされることの効用など院内では出来ない多くの気づきを得ているところです。

この2つの取り組みを通して、当院をご利用いただく患者の皆さんが住み慣れた地域でより良い状態でより長く生活を維持することに寄与できればと考えています。どうぞ、主旨をご理解いただきご協力いただければと思います。

本年もどうぞご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

専門・認定看護師の紹介



急性重症患者看護専門看護師

急性重症患者看護専門看護師は、緊急度や重症度の高い患者に対し速やかな全身状態の安定や、QOL(生活の質)の尊重に根差した看護ケアの提供すること、また患者・家族支援、医療スタッフ間の調整などを行い、最善の医療が提供されるよう支援する活動を行っております。

特に急性期病棟では、医療技術の進歩により救命、延命の可能性が高まる中、急激に生命の危機状態に陥ったとき、患者さん自身で意思を伝えられないことで起こる倫理的課題は増加しています。このような状況の中私たちは、患者さんの意思が尊重され最善の決定がなされているのか、家族の代理意思決定を支えることができているのかといった倫理的ジレンマに対し、カンファレンスを行いながら倫理的問題や教育に取り組んでいます。

【丸林美代子】

私が所属するICUや救急外来には様々な患者さん入院、来院されます。時間的に切迫している中でも、患者さんのご意向やこれまでの価値観を大切に、ご家族の思いにも寄り添いながら、医師との橋渡しや説明の補足、そしてご家族と共に患者さんの最善を考えた決定ができるよう支援していきたいと思っています。

何か困りごとや気がかりなことがありましたら、周りの医師や看護師へ気軽にお声掛けください。ご家族の不安や悩み、様々な問題へのご相談をお受けいたします。



救急看護認定看護師

【田尻 雄三】

救急医療とは、急病など、急に身体の疾患または損傷を受けた人々を対象に診療を行う医療であり、その中で質の高い看護を提供できることを目標に活動をしています。

私は、ICU、HCU、救急外来で勤務しており、主に重症化を回避する為の看護実践に対する専門性を活かし、安心して治療を受けることができるようにサポートをしています。

救急看護の特徴として、時・人・場所を選ばず必要とされ、状況によっては、限られた時間の中で救命技術を提供することが望めます。いつ、誰が、どのような状況下でも実践できるように、BLS（一次救命処置）やICLSコースといった救命技術を養う研修を定期的に行っております。また、現在は「心停止の予防」という考え方が強く推奨されており、患者さんの血圧などの数値をスコア化するシステムの導入や救急対応チームによるラウンドを実施し、患者さんの変化に迅速に対応できる環境作りを行っ

ております。多くのスタッフと協力し、より安全で安心できる環境の提供を目指しております。



浜の町病院地域医療連携の会

平成29年11月6日（火）西鉄グランドホテルにて、平成29年度第2回浜の町病院地域医療連携の会を開催致しました。「浜の町病院地域医療連携の会」に拡大して2回目の開催となり、当日は登録医、まいづる会会員、地域の医師会の先生方149名のご出席を頂きまして、盛会のうちに無事に終えることが出来ました。講演会では放射線科部長 舩本博史医師より「強度変調放射線治療（IMRT）を始めました」、耳鼻咽喉科・頭頸部外科部長 玉江昭裕医師より「めまいの診療」、神経内科部長 佐竹真理恵医師より「めまい～神経内科の立場から～」の講演を行いました。

懇談会では、福岡市中央区医師会専務理事 占部医院 占部嘉男先生によるご挨拶及び乾杯ご発声で始まり、診療科毎のテーブルを囲んで終始和やかな雰囲気でした。最後に福岡市医師会監事 権藤内科医院 権藤公和先生の締めのご挨拶で盛況のうちに無事に終了となりました。懇談会では先生方から貴重なご意見、励ましのお言葉を頂きましてありがとうございました。今後の地域医療連携の推進に努めていく所存でございます。先生方の多数のご出席誠に有難うございました。



クリスマスコンサート

12月6日（水）に当院のがん患者の会「南風の会」主催により「森の音楽家 shana」さんをお招きしてクリスマスコンサートが開催されました。



森の音楽家 shanaさん



ひと足早いクリスマスを満喫することが出来ました。
ありがとうございました。

第94回 市民公開講座 主催：日本消化器病学会九州支部

平成29年10月7日（土）14時からアクロス福岡で日本消化器病学会九州支部主催による第94回市民公開講座を開催させて頂きました。胃がん、大腸がん、肝がん、膵がん治療の最前線「知っておきたいお腹のがん」と題して当院の医師4名による講演を行いました。市民の皆様がどれだけ来て頂けるか大変不安でしたが、350名を超える地域の皆様にご参加頂き、盛況のうちに終えることが出来ました。お越しいただいた皆様、誠にありがとうございました。



胃がん 消化器内科部長 尾石 義謙



大腸がん 内視鏡外科部長 植木 隆



肝がん 肝臓内科部長 具嶋 敏文

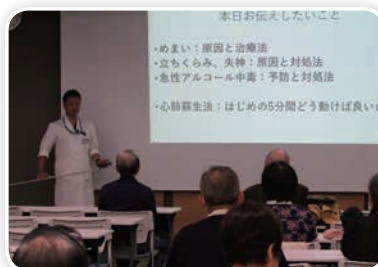


膵がん 消化器外科部長 許斐 裕之

市民公開講座

平成29年9月25日（月）に、第19回「慢性腎臓病の予防と治療」と題し末期腎不全の治療（血液透析 腹膜透析 腎移植）、透析食の食事療法のポイントについて、平成29年11月27日に第20回「救急外来でよく診る疾患と救急蘇生法（実践）」と題し、「めまい」「立ちくらみ・失神」「急性アルコール中毒」の対処法や家族や友人が突然意識を失って倒れた時の心肺蘇生法について市民公開講座を開催しました。両日多くの方にご参加いただき、人形を使用した救急蘇生法の講習ではいつどこで起こるか分からない問題であり、参加者の皆様はとても真剣に熱心に聞き入っておられました。

平成30年も2ヶ月に1回開催致しますので、たくさんの方のご参加をお待ちしております。



市民公開講座スケジュール 開催日時：奇数月 第4月曜日 14時～15時30分 会場：浜の町病院 3階 研修講堂

開催	日時	診療科/講師	タイトル
第21回	平成30年1月22日（月） 14時00分～15時30分	外科 本山 由利菜 形成外科 江藤 ひとみ	乳腺の病気と乳房再建について ①乳腺外来でよく診られる疾患 ーのう胞、線維腺腫、乳腺症、乳がんー ②乳房再建について
第22回	平成30年3月26日（月） 14時00分～15時30分	眼科 佐々 由季生	失明原因第2位！知っておきたい糖尿病性網膜症
第23回	平成30年5月28日（月） 14時00分～15時30分	血液内科 平安山 英穂 血液内科 衛藤 徹也	①新薬解説：白血病・リンパ腫・骨髄幹細胞移植 ②進化する造血幹細胞移植
第24回	平成30年7月23日（月） 14時00分～15時30分	救急部 廣津 こう平	熱中症について、正しい知識と実際の対策
第25回	平成30年11月26日（月） 14時00分～15時30分	呼吸器内科 前山 隆茂	肺の生活習慣病 COPD

都合によりタイトルや内容を変更する場合がございます。その際はご了承願います。
9月24日（月）は祝日のため開催はありません。

【お問い合わせ】浜の町病院 地域医療連携課 092-721-9991

看護専門セミナー

平成29年9月2日（土曜日）地域の病院・訪問看護ステーションの看護師を対象に「専門・認定看護師と一緒に学ぼう 看護専門セミナー」を浜の町病院の研修講堂で開催しました。当日は94名の沢山の方にご参加頂きました。

今回のセミナーは2部構成とし第1部は「看取りの時期の看護」と題して、緩和ケア認定看護師 福島由紀より「看取り時期の身体の変化」「看取り時の本人・家族への対応」について講演を行いました。続いて第2部は「心不全患者の療養支援」と題して、慢性心不全看護認定看護師 渡邊洋子より「自宅での慢性腎不全患者の生活支援と指導」について、実際の場面を例に挙げ具体的な指導方法を紹介しました。短い時間でしたが、参加者が真剣に学習されている光景がとても印象的でした。また、参加者からは「専門的な知識・技術を学ぶ良い機会になった」「今後もセミナーに参加したい」等の感想を多数頂きました。

今後も地域の連携機関と連携・協働しながら、患者さん・ご家族が安心して地域で自分らしく生活を続けていけるように努めていきたいと思っております。これからも、地域と一緒に学ぶ研修を企画する等より一層努力して参ります。

次回は、平成30年3月17日（土）14：00～16：00 浜の町病院 研修講堂にて「高齢者の糖尿病治療と在宅支援」「慢性呼吸器疾患患者への急性増悪予防とそのケア～呼吸介助をマスターしよう～」をテーマにセミナーを開催します。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

*参加申し込みは、1月中旬以降「浜の町病院ホームページ」より、受付開始します。

訪問看護認定看護師 大久保志保

浜の町病院

専門・認定看護師と一緒に学ぼう♪

第2回 看護セミナー

平成30年3月17日（土） 14：00 ▶ 16：00

受付開始 13：30～

開催会場 場所：福岡市中央区浜町3丁目3-1
国家公務員共済組合 浜の町病院 3階研修講堂
対象者：看護部（看護士研修のセミナーで学ぶ研修生の参加も可能）
参加費：無料

「高齢者の糖尿病治療と在宅支援」 講師：糖尿病看護認定看護師 横山純子
糖尿病看護部、足利インテグレーション、高齢者看護実践センターから最新情報、等

「慢性呼吸器疾患患者への急性増悪予防とそのケア～呼吸介助をマスターしよう～」
講師：慢性呼吸器看護認定看護師 結城美貴
慢性呼吸器科の看護師とその看護・呼吸リハビリテーション（呼吸リハビリ） 等

● 申し込みは、申し込み書、参加費を伴って申し込みます。申し込み書は、研修課（〒815-8503 福岡市中央区浜町3丁目3-1）または、研修課（〒815-8503 福岡市中央区浜町3丁目3-1）へ提出してください。

● 申し込みは、申し込み書、参加費を伴って申し込みます。申し込み書は、研修課（〒815-8503 福岡市中央区浜町3丁目3-1）または、研修課（〒815-8503 福岡市中央区浜町3丁目3-1）へ提出してください。

● 申し込みは、申し込み書、参加費を伴って申し込みます。申し込み書は、研修課（〒815-8503 福岡市中央区浜町3丁目3-1）または、研修課（〒815-8503 福岡市中央区浜町3丁目3-1）へ提出してください。

地域連携だより

登録医から 一言

吉村病院

〒814-0002 福岡市早良区西新3丁目11-27
Tel:092-841-0835
Fax:092-841-0838
HP:www.yoshimura-h.jp



院長 吉村 茂昭先生

その昔、父が浜の町病院(以下、浜の町)で、たびたび人間ドックを受けていた記憶があります。お陰様でその父も20数年前に天寿を全うする事ができ、感謝しております。又、10数年前に母が特発性間質性肺炎で緊急入院となり、呼吸器内科の樋口先生と鶴田先生には、大変お世話になりありがとうございました。僕の姉も浜の町で働きながら双子を無事帝王切開で出産する事ができました。その後は元気に育ち、今は親子共々幸せな人生を送っております。その姉の孫が、最近肺炎で小児科に入院となりましたが、元気で退院しました。よく考えたら(別に考えなくても)僕の家内も新婚当時、ウイルス感染症で入院していました。今は頑丈で健康です。このように浜の町には、親族一同「ゆりかごから墓場まで」(浜の町のキャッチコピーにいかがでしょうか？ダメかしら？)お世話になっている状態で重ねて感謝申し上げます。かくいう自分も研修医時代に浜の町の外科

と麻酔科にお世話になりました。皆さん優しい先生ばかりで、夏のBBQ、小浜温泉の医局旅行、(個人的な)連日の飲み会など楽しく過ごさせていただきました。外科病棟の神坂主任に「吉村先生もう少し働いて下さい。前任の〇〇先生は、もっと働いてましたよ！」とご指導頂きました。(よっぽど働いていなかったんでしょうね！すみません！)という訳で、前置きが長くなりましたが、少しでも吉村病院の紹介をさせて頂きます。当院は、地下鉄西新駅より歩いて2分、修猷館高校の正門の前にあります。お陰様で昨年無事に(何とか？)70周年を迎える事が出来ました。「24時間いつでも何でも診てくれる。あの病院に行けば、何とかしてくれる。」をモットーに日夜励んでおります。これからも浜の町病院を目標にして、地域に密着した病院として皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



大 昔



現 在

■ 救急患者紹介連絡先

月～金（8:30～17:15）

Tel 092-721-9913(連携課直通) / Fax 0120-721-991(連携課直通)

上記以外の時間及び土日祝

Tel 092-721-0831(病院代表)

(平成30年1月1日現在)

診 療 科	時間	専 門	月	火	水	木	金
内 科 (腫瘍内科の新患は月～金の午後)	午前	総 合 診 療	内田勇二郎	中 澤 愛 美	当番医	内田勇二郎	当番医
		血 液 新 患	衛 藤 徹 也	吉 田 周 郎	衛 藤 徹 也	平安山英穂	栗 山 拓 郎
		血 液 再 来	吉 田 周 郎	衛 藤・栗山	平安山英穂	衛 藤・松尾弥生	平安山英穂
		循環器新患	小 河 清 寛	高 原 勇 介	白 井 真	船 越 祐 子	塩 見 哲 也
		循環器再来	塩 見 哲 也	船 越 祐 子	高 原 勇 介	小 河 清 寛	白 井 真
		消 化 器	尾 石 義 謙	瀬 尾 充	瀬 尾 充	岩 崎 一 秀	尾 石 義 謙
		腫 瘍	田 中 吏 佐	田 中 吏 佐	田 中 吏 佐	田 中 吏 佐	三ツ木健二
		肝 臓	柴 田 倫 子	高 橋 和 弘	具 嶋 敏 文	高 橋 和 弘	高 橋 和 弘
		呼 吸 器	前 山 隆 茂	鶴 田 伸 子	鶴 田 伸 子	鶴 田 伸 子	鶴 田 伸 子
		糖尿病内分泌	麻 生 達 磨	前 山 隆 茂	麻 生 達 磨	前 山 隆 茂	前 山 隆 茂
		腎 臓	渡 邊 洋 子	平 松 真 祐	平 松 真 祐	渡 邊 洋 子	平 松・渡邊
		膠 原	原 祥 子	吉 田 鉄 彦	出口孝史	吉 田 鉄 彦	吉 田 鉄 彦
脳神経センター 脳外科（月・水・金）の午後、 神経内科の午後は 紹介患者と予約のみ	午前	脳 外 科	松角宏一郎	新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	松角宏一郎	新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	松角宏一郎
			上坂十四夫	上坂十四夫	上坂十四夫	上坂十四夫	上坂十四夫
			—	—	—	—	—
	午後	脳 外 科	松 山 友 美	佐竹・松山	佐竹真理恵	佐竹・松山	佐竹(新患のみ)
			松角宏一郎	新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	前 原 直 喜	新患紹介のみ (手術日のため、受付 できない場合もあり)	松角宏一郎
			前 原 直 喜	—	—	—	前 原 直 喜
外 科 ※木曜日の午後（13:00～14:00） Dr大城戸への乳腺紹介のみ	午前	消化器・一般	許 斐 裕 之	一 宮 仁	前 山 良	許 斐 裕 之	植 木 隆
			本山由利菜	植 木 隆	河 野 博	前 山 良	池 永 直 樹
			—	河 野 博	—	池 永 直 樹	—
	午後	呼 吸 器	—	—	松本耕太郎	松本耕太郎	—
			—	—	—	—	—
			—	—	—	—	—
産婦人科 新患は紹介のみ ※受付時間 月・水・金 8:30～11:00 火・木 8:30～10:30 産科初診のみ婦人科で受付	午前	産 婦 人 科	後 藤 遥	中 西 貴 子	蔵 本 和 孝	中 西 貴 子	高 杉 篤 志
			上 岡 陽 亮	大 石 博 子	上 岡 陽 亮	竹 内 麗 子	上 岡 陽 亮
			大 石 博 子	前 原 都	竹 内 麗 子	高 杉 篤 志	大 石 博 子
			竹 内 麗 子	蔵 本 和 孝	前 原 都	後 藤 遥	中 西 貴 子
			中 西 貴 子	—	高 杉 篤 志	—	前 原 都
			—	—	—	—	—
整 形 外 科 新患は紹介のみ 月・水・金は 受付 8:30～10:30	午前	整 形 外 科	紹介新患のみ (当番医)	馬 渡 太 郎	紹介新患のみ (当番医)	松 井 元	馬 渡 太 郎
			—	松 井 元	—	井 口 貴 裕	井 口 貴 裕
			—	川 原 慎 也	—	光 安 浩 章	光 安 浩 章
			—	末 田 麗 真	—	末 田 麗 真	川 原 慎 也
			—	北 出 一 季	—	—	—
			—	—	—	—	—
形 成 外 科	午前	形 成 外 科	松 本 大 輔	—	松 本 大 輔	—	松 本 大 輔
			江 藤 ひとみ	—	江 藤 ひとみ	—	江 藤 ひとみ
泌 尿 器 科 午後は予約と紹介のみ	午前	泌 尿 器 科	小 藤 秀 嗣	上田(予約のみ)	小 藤 秀 嗣	山 崎(予約のみ)	小 藤 秀 嗣
			山 崎 武 成	—	山 崎 武 成	—	上 田 耕 平
小 児 科 午後は予約のみ 内分泌 第3水曜日/ 循環器 第4木曜日のみ (予約)	午前	小 児 科	上田・山崎(予約)	—	小 藤・山崎(予約)	—	小 藤・上田(予約)
			—	—	—	—	—
耳 鼻 咽 喉 科	午前	耳 鼻 科	鷲 尾 真 美	内 田 理 彦	兒 玉 志 保	武 本 環 美	内 田 理 彦
			兒 玉 志 保	回 診	武 本(小児神経)	1ヶ月健診	鷲 尾 真 美
			予 防 接 種	—	内 分 泌(第3)	循環器(第4)	健 診・予 防 接 種
			野 田 哲 平	玉 江 昭 裕	—	玉 江 昭 裕	玉 江 昭 裕
			岡 部 翠	野 田 哲 平	—	野 田 哲 平	岡 部 翠
			西 山 和 郎	西 山 和 郎	—	岡 部 翠	山 本 陵 太
眼 科	午前	眼 科	佐々由季生	—	佐々由季生	(当番医)	佐々由季生
			応 援 医	—	西 村 太 吾	—	西 村 太 吾
皮 膚 科 (新患は紹介のみ)	午前	皮 膚 科	竹 内 聡	康 渚	竹 内 聡	竹 内 聡	竹 内 聡
			伊地知亜矢子 (非常勤)	—	堤 碧 (非常勤)	康 渚	—
放 射 線 科	午前	放 射 線 科	松 浦 隆 志	松 浦 隆 志	松 浦 隆 志	—	—
			角 南 俊 也	角 南 俊 也	角 南 俊 也	角 南 俊 也	角 南 俊 也
			亀 井 僚 太 郎	亀 井 僚 太 郎	亀 井 僚 太 郎	亀 井 僚 太 郎	亀 井 僚 太 郎
			舩 本 博 史	舩 本 博 史	舩 本 博 史	舩 本 博 史	舩 本 博 史
精 神 科 ※原則として当院に入院中の患者のみ	午後	精 神 科	平 峯 慶 子	平 峯 慶 子	平 峯 慶 子	平 峯 慶 子	平 峯 慶 子
			—	九大(予約のみ)	—	九大(予約のみ)	九大(予約のみ)
緩和ケア外来 ※原則として当院で診療を 行っている患者のみ 11:00～12:00 (完全予約制)	午後	緩和ケア外来	永 山 淳	永 山 淳	—	永 山 淳	永 山 淳
			—	—	—	—	—
健康医学センター(要予約)	午前	外来ドック	高 崎 智 子	高 崎 智 子	高 崎 智 子	高 崎 智 子	高 崎 智 子
			久 野 千 津 子	久 野 千 津 子	久 野 千 津 子	久 野 千 津 子	久 野 千 津 子

受付時間：午前8:30～11:00

発行責任者／浜の町病院広報誌編集委員会 委員長 吉澤 誠司